(財)プレイスクール協会
雑創の森プレイスクール
TEL:0774-63-0951
福岡プレイスクール
TEL:092-761-0592

遊便 プレイスクールからびん

2017 12
(No.436)

おべんとう(きゅうしょく)のとき してはいけないこと

アトミイケイミンバン

おべんとうのとき（きゅうしょくのとき）

してはいけないこと

◎笑っちゃいます!!

・たちながら　たべてはいけない

●ようわかってるやん!!

・たっておべんとうたべたら　おぎょうぎわるいからだめ
・てでたべる　・おはしをはんたいでたべること
・ウンチとか　きたないことをいう　・うんちとか　いうたらだめ
・げひんなことをいう
・だれかのおべんとうほしくて　あげるっていわれても　あげたらあかん
・ひとのおべんとうをたべること・おともだちのおべんとうをたべる
・よこのひとのをたべる　・よこのひとのおべんとうをとる
・わざとおべんとうをこぼす　・わざとにんじんとか　おとしたらだめ・わざとおとす　・きらいなものを　わざとおとしてはいけない
・きらいなものを　ともだちとこうかんする
・たべものをのこしたらあかん　・きゅうしょくバイキング
・おちゃをともだちにかける　・うぃんなーをほりなげること
・おかしをたべる　・たべおわってないのに　あそんだらだめ
・おべんとうのうえに　うんちかけたあかん

次回（じかい）のお題（だい）は

「クリスマスに　こんなことがあるといいなあと　おもうこと」

おたよりまってます！（ドクロポストへ）

福岡プレイスクールの子どもたちに聞いた

◎きゅうしょく、おべんとうのときしてはいけないこと。

・うずらのたまごで たっ球。(4年男子) …… やってみたいけど … やっぱだめ。
・牛乳でビールかけ (4年男子) … ビールじゃなくてもいいのかな？
・他人にはにんじん、自分はステーキとイセエビとキャビアとフォアグラ トリュフ (4年男子)

みんなは牛乳ぬたが多かったです！

・ちゃらりん、鼻から牛乳 …… 1番多かったけど、牛乳の漢字が、まちがっていたのも多かったヨ。
・牛乳をまわりの人にかける (3年男子)
・牛乳を飲んでいる人を笑わせる (5年女子)

せったいしてはいけません。 ダメダメダメです

・きゅうしょくに、ハナクソ、を入れる (5年、男子)
・〃 うOO 〃
・〃 かめ虫(虫) 〃 } 複数回答。
・〃 のぶどうをつぶしておいとうに入れて密造酒を作る。 大人になるまでまってね。(6年、男子)
・すべりやすくするため、床をぬらす (4年女子) あぶないからヤメテね

いつも、学校とかで、言われているのかな？

・げひんなことをいわない ・何も食べない ・立ち飲み、食い
・しゃべらない ・へらす時間に全部へらす ・皿をなめる
・えんぴつで食べる (えんぴつは書く時つかってね)
・女子きな人にだけ、はしを配らない ・ナフキンをなげる (1年男子)
・自分の分だけ多目につぐ ・ぬすみ食いをする。
・食べものを投げる

イヤイヤもめんどうがらずに付き合ってあげましょう。

２才～4 才にかけて子どもはよく物事を「イヤイヤ」と否定しますし、「私がやりたい！」とか自己主張も強くなります。その年齢の子どもたちはわがままですし、気まぐれな行動をとったりします。この頃の「イヤ」は、本当に嫌なときもありますが、ただ否定のためだけのイヤではなく、「お母さんたちは私をみてくれているかな？」とか「もっと私の話しも聞いてよ」とか「ぼくを愛してくれている？」とかを確かめるためのイヤが多いのです。ですから、親は子どもが少し大きくなるまでそのイヤと付き合わなければいけませんし、そのイヤは何のイヤ？と想像し、イヤを真に受けないで判断する必要があります。

自己主張を認めることは甘やかしとは逆

子どもは２歳ぐらいから「私がやりたい！」「あれがほしい！」と自己主張も強くなってきます。そして手段として、泣いたり、だだをこねれば、大人側が一歩引いてくれることを知ります。ですから特に、一人っ子や大人の中だけで育った子は、自己主張が通ることも多いようです。そこで子どもは簡単に大人が折れることを知ります。

子供どうしではどうでしょう。子どもの中ではそうはいきません。未完成である子どもどうしがぶつかり合うのですから、お互い引かないし、喧嘩になったりします。しかしそこが大事なのです。（もちろん見守る誰かが必要になります）ぶつかり合い、泣いたり、怒られたりした後に考え直したり、相手を許したり、ルールを守れるようになったり、そして自分が認められることによって自信をつけたりするのです。それが自立の一歩なのです。

子どもの甘えの要求を叶えてあげることはそう難しいことではありません。物を買ってあげたり、なにかをしてあげたりとか、大人が少し目をつぶれば簡単にできることばかりです。しかしそこが問題で、簡単に許してあげると子どもの心が育ちません。ですから子どもが泣いたり、ダダをこねたりしても、大人としてぐっと我慢して、ダメなことはダメと動じないことが、子どもの心を強くする基礎であり、しつけになるのです。
それは子どもの自己主張を認めてないことではなく、認めていることになるのです。

山本　直幸

ナースリークラス

◎ プレイルームの真ん中の地下室は子ども達の大好きな場所。この頃は出たり入ったりもとても上手になりスピードもアップしてきました。中が動物のおうちになったり、ベッドルームになったり、お店やさんになったり、といろいろですが、お気に入りのあそびが、子ども達が私の手を引いて「早く寝て！」って。わかっているのでわざと「あんまり眠くないんだけどなあ」と言ってみると子ども達は少し淋しい顔や少しおこったりするので、あわてて「眠くなってきたよ。」と言い直すと、みんなは花が咲いた様に明るくニコニコ顔で「夜です、朝です。」と言ってごろんとねっころがるごっこもしています。眠むってても起きても、みんなの笑顔がかわいくて、大人の私が癒されています。まだしゃべれない子も、遊びは理解できている様で、一緒にごろりんと寝ころがって遊んでいます。

◎ モーモーランドは、お天気も良くポカポカ陽気で楽しかったです。広々とした野外での活動は、大人も子ども達もおおらかにしてくれた様で、いつもニコニコですが、さらにニコニコ笑顔がたくさん見れました。走りまわって、大さわぎした半日は、あっという間に終り、少し残念なかんじでした。春風の頃、また企画したいと思っています。参加協力お願いします。そしてたくさん楽しみましょうね。

— よっこー

幼児クラス

11月24日(金)

～～ちょびの友達の"よろずとんがらし"さんが来た～～

腹話術のおじさんが遊びに来ました。最初は、みんなが遊んでいるのをニコニコして観察、そして『何しているの？』と質問。人なっこい子は、「パッチンガエル」「ちゅんばら」「かめ虫」と元気良く答えていました。しかし、ニコニコおじさんが腹話術をはじめると、真剣に見ていた子も、すっかりとりこになって、しっかり楽しんでいましたよ。口をとじたまま、人形の声もだせるし、声と口がずれて聞こえる、いっく堂さんの技もできるスゴイ人形劇の人なんですが、子ども達は普通に人形がしゃべっているので、あんまり不思議さを感じてなかった様です。

人形を使わないで、しゃべる時は、後ろに座っていたちょびが声を出していると思っていた様でした。スゴ技には、気が付かなかったけれど、腹話術人形劇は、とってもおもしろくって、みんなくぎづけになっていましたよ。終った後に、トランクに入れられた"とんちゃん"が箱(トランク)の中で、『おしっこ』と寝言を言ったのが気になっていた子もいて、「おしっこいかなくていいのかな？」と何度も聞いていました。幼児クラスのラッキーフライデーでした。腹話術のおじさんを"バイバイ"バイバイと見送ったあと、子ども達は、すぐに人形劇ごっこを始めました。見たのをまねしている子もいるし、走りまわったり、かくれんぼをしている人形劇をしている子もいましたが、……あれあれ けこみ(舞台)と椅子を並べて客席を作って本格的に始めているグループもできました。

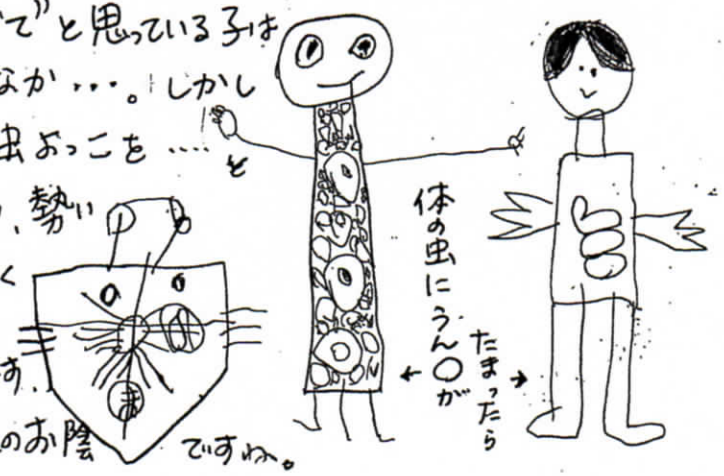
「人形劇、はじまりますよ」と呼びこみの声で、何人かが座るとじゃーんとユワラがでてきて「私はユワラタヌキです。おしまい。」と。

あららら

～♯なんじゃ、こりゃ～の人形劇は、すぐに終って、次はどうしようと思っていたら「お金を作らないと」「チケットもいるよ」「はじまり はじまりは？」「じゃあ、おしまいは？」と思いつくのが多くって、忙しそうです。やっと準備が整ったので、“はじまり はじまり”……。「ちょっと待って」とたみの方の電気が消えました。そう、だいたいの人形劇の時は部屋を暗くして、スポットライトを付けてするのですが、こども達の人形劇には、スポットライトがないので、暗くって見えづらい。今日は、部屋を明るくしてやってもらうよう手にしました。最初は、3人で人形劇をしていたのですが、2人は「カメ虫が地球をくさい星にしてしまう」をしていて、もう1人が勝手に自由にしゃべるので、“わけわからんぞ…”になり いつの間にか おしまいになりました。しかし、やった子はそれぞれ満足していた様で、すんなり、次の遊びに移行していました。おむかえのおかあさんに「今日ね、ちょびの友達のとんがらしさんがきたよ。」と興奮して報告していましたが、おかあさんは？の顔でしたが、一生懸命楽しかった報告をしている子ども達を懸命に耳をかたむけるお母さんの姿は微笑ましかったです。

～～～かめ虫様のお陰～～～

字や絵が得意な子はちゃっちゃと描けるのですが、“にがて”と思っている子はなかなか…。しかしかめ虫ぶっこを……と言ったら、勢い良く、楽しくペンが進むのです。かめ虫様のお陰ですね。



月2回クラス

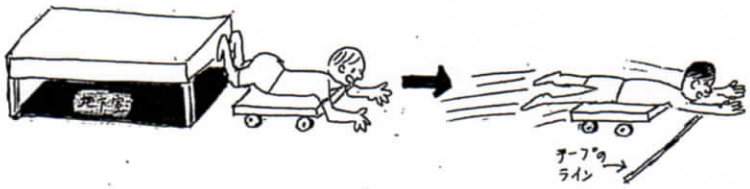
10月の4週めは花畑園芸公園行きを予定していましたが、お天気が悪かったので、プレイスクールでクッキー作りに変更!! ハロウィンも近いので、濃いグリーンや茶色い生地も用意して、すこーし不気味なものも作ってみることにしました。が、やはり子ども達。すこーしというわけにはいきません。茶色い生地を見ると連想するのは… そう、あれ。でもさすがに口では言いながら形にダイレクトにするのはねぇ… みたいに ああでもない こうでもない、ゲラゲラ笑いながら作ろうとしてはくずしを繰り返していたら、横からアドバイスがはいり UNKO ができあがり、大喜び。(たしか去年も同じことをして喜んでいた子がいました) そこからは まいたものもできあがり、何度も何度も指さしては ゲラゲラ。 もちろん おばけやかぼちゃなど かわいいクッキーを作っている子は型抜きもして自慢気に見せていました。このみんなもゲラゲラ組の会話を聞きながら、時々見学にきたりして。焼きあがったら これも見学会となり、「あー、UNKOが割れとるー。」なんて楽しんだのでした。 その後、お昼ごはんを食べる時に、おみそ汁もほしい! とのことになり、じゃあ作ろう! と にぼしだしをとり、台所にあった野菜から、にんじん、さつまいもを選び、自分達で切ってみそをとき、そして、「う、うますぎる!」「おかわりしていい?」「食べていいよ!」と午前中で帰る子にも ふるまいみそ汁をして、あっという間になくなったのでした。

<よこ>

小学生水曜日クラス　　ちょび

台車でゴー！

荷物運び用の台車の車輪が付いた台の部分があるのだが、
その台車に腹ばいになって、足で壁を蹴って、転がす遊びをしてかなり盛り上がった。
プレイルームの床板をはずし、地下室に入れるようにしているのだが、その床板をテーブル代わりに足をつけてもちあげている、その台（コタツと呼んでいる）テーブルを足で蹴ってテープを貼っているラインを決めている所にどれだけ近づけるかという遊びをやったらこれがけっこう難しく、なかなかそのラインの近くに寄せれないので接戦になっておもしろかった。



たまたま　まぐれでライン近くに来たとしても、その次のときは遠かったりするので。この競技はちょっと難しかったので次に、壁を蹴ってどこまで遠くまで転がすことができるかをやった。これは「人との戦いではなく、自分の記録の更新だから。」といってやり始めたが、やっぱり自分の更新もさることながら、人より遠くへ転がすことを目標に燃えていた子どもたちだった。

立体プラバン作り

先日、立体プラバン作りをした。
今までのプラバンは、透明プラバンに油性ペンで絵を描いて、それをオーブンで焼くだけだったが、今回は透明プラバンを後から立体にできるように構図を考え、そこに油性フェルトペンとユニポスカで絵を描き、きれいに色を塗り、それを立たせたり、立体になるように予想して、切り込みや動物の形にカットしてオーブンで熱くして縮めたあと取り出して、熱いうちに切れ込み部分を立つように曲げたり、動物を立体型に曲げたり、指輪の形に丸棒にクルっと丸くしたりと工夫をこなしていろんなものを作った。これは子どもたちもご満悦な感じで、何個も何個もいろんなものを作っていて、いろんな作品が出来上がっていた。

料理クラブ

カレー作り

ある日の会話「何か作りたい料理ある？」とみんなに聞くと「カレー！！！」というわけで、この日はカレー作りになりました。
ただのカレーではおもしろくないので何か工夫をと考えたのは、今が旬のりんごで簡単にりんごチャツネみたいなものを作ってみてはと思いました。
まずは、みんなで野菜のたまねぎ、にんじん、じゃがいもを切りました。たまねぎはみじん切りで、半透明になるまで、炒める作業は根気が要りましたが、率先してやってくれました。
味のコクを出すためのチャツネはりんごをすりおろし、フライパンでコトコト煮込んで、砂糖、便利なチューブのにんにくとしょうがを加えました。それを、材料をすべて入れて煮込んだ最後に入れました。「甘いけど、おいしい。」との意見でした。
鍋でたっぷり作ったので、スポーツクラブのみんなにも食べてもらいました。

アイスクリーム作り＆アイスクリーム屋さん開店

このクラブが決まった時に最初にみんなに聞いた作りたい料理の中にアイスクリームがありました。
いつか、作りたいと思っていたので、今回挑戦しました。
ただ、アイスクリームは冷凍して固める必要があるので、食べるのは次の回ということになりました。そして、せっかくなので他のクラブのみんなにも食べてもらえるようにお店屋さんをしようと言う事になりました。
アイスクリームを作った翌週に、さっそくお店の準備をしました。アイスクリームの引き代え券や、アイスクリームのトッピングなどなどを準備しました。
お店の開店直前まで、冷凍庫に入れていたのでなかなかアイスクリームが硬くて、はじめのうちは、お店がごった返していましたが、みんなはがんばってお店を切り盛りしていました。
みんなに、配り終えてほっとひといき自分たちがやっと食べる時間になりました。
アイスクリーム屋さんは、ほんとにたいへんでしたね。

たみ

手芸クラブ

モコモコ素材のくつ下やレッグウォーマーを使って、人形を作りました。くつ下の場合は レグウォーマーは 切ったところを縫って綿を入れるとボディの完成！あとは、いぬスター、くま、犬、などなどおもいおもいの動物を作っていきます。すると、1人の女の子が「カンガルーをつくりたい」「うん、いいよいいよ」…「ん!?カンガルー!?」さてどのような口の形にすれば、そうみえるのか…「えっと、ちょっと待ってね、えーっと…」と考えていると6年生の子が、「こうすれば見えるんじゃない?」とアドバイスしてくれて口の形を整えてくれると、「おー、すごい、カンガルーだー」その後もしっぽのところにモールを入れて曲げるといいね、など教えてくれて、みんなも別の物を作っているけれど、耳はひらいていて、ひとつアイディアがでると、のぞきこみにきて、「いいね」、となっていました。玉止め、玉結びが苦手な子達も「ちょっと努力してみる!」を合い言葉に、「ねー、やってー。」と私の方に針と糸を「はい」と渡してくるので、「ね、」と言いかけると「ちょっと努力したとよ」、と先に言ってきて糸の端の努力の後を見せてくれます。「ね、やってみてるでしょ」って。こうして少しずつやれることも増えてくるとできあがるものもひろがってきますね！それぞれかわいい人形ができあがっていました。1回作って、周りの子のいいところを見て2回めで自分の満足いく人形に仕上げている子もいました。洋服のリメイクをキラキラした目で楽しんでいる子もいて、作る気がいっぱいです！

〈よこ〉

工作クラブ

たかゆき

すっかり昼の時間も短くなって、冬がだんだんと近付いてきているのが感じられます。風邪を引かないように気を付けましょうね。

～パタパタ蝶々～

いたずらを企んでる子供の顔って何だかキラキラ輝いてますよね。今回はそんなキラキラ顔のお手伝い。手や本に挟んで開くとパタパタと飛んで人をビックリさせる'パタパタ蝶々'を作りました。

材料は針金と輪ゴムに紙、セロテープだけでできてしまうシンプルな構造。針金を加工するのはみんなには難しいので、事前にそこだけ作って準備してからいざ工作スタート！

羽の形は基本の型を用意していましたが、もちろん自由な大きさ・形でok。切り取ったら好きな色を塗って針金に貼って組み立てる。

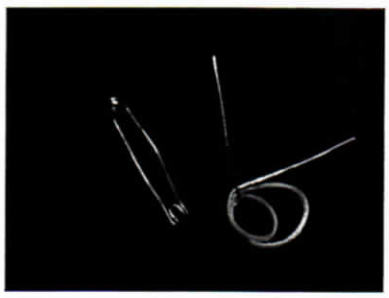
早速飛ばしてみると・・・飛ばない！羽が大き過ぎたり、形がよくなかったり、ゴムの巻きが足りなかったり巻き過ぎてたり・・・理由はそれぞれ。「なんで飛ばんやったとかいな？」「ここをこうすればいいかな？」「〇〇のやつ少し飛んだけどどうやったん？」「ゴムを増やしたらどーなるっちゃろ？」と試行錯誤しながら何度も何度も改良している姿は、すごく成長を感じさせてくれる姿でした。

そして遂に工作室の端まで飛ぶように！！「うわっ、今のすげえ！！」

「・・・でもこの飛び方、蝶っていうより蛾だよねこれ。」

・・・パタパタ蛾ができました。

「お家に帰ったら家族にイタズラする！」と意気込んでいましたが、'パタパタ蛾'のイタズラ、成功したかな？



自転車クラブ

まさし

１１月。木々も色づき、風にも冷たい空気が混じるようになってきました。そんな中でも子どもたちは元気。薄着でもお構いなく外を動き回ります。さて、今月はどこに出かけようかな

〇大濠公園～舞鶴お濠

引き続き、水辺で遊ぶブームは継続中の子どもたち。でも、自転車クラブなので、自転車も楽しみたい。と言うことで、今回は近場を遠回りしつつ、遊ぼうということでまずは大濠公園へ。大濠公園では、一周のタイムレースをして、その後、景色やお話を楽しみつつ自転車を楽しみました。途中、水辺で休憩。一人の子がレジャーシートを出して、水辺で遊びました。水切りをしたり、亀を探したり。しばらくそこで遊んでから、次の目的地、舞鶴のお濠へ移動。そこに行くまでも、舞鶴の門までレースしたり、坂道や砂利道で遊びながら移動しました。さて、お濠に到着すると、大きな鯉やカモ、蓮の葉などで盛り上がりつつ、最終的にはやっぱり亀釣りに。亀も発見したけど、今回は捕獲できず。寒くなってきて水辺の生物の動きも鈍くなってきていて、そろそろ釣りシリーズも終了かなと感じる活動でした。

〇科学館

この日は、人数も少なく、天気も今にも雨が降り出しそう。おまけに急に寒くなったこともあり、科学館に行くことにしました。城南線の坂道を上って下って、六本松の科学館に到着。とりあえず中へ移動すると、なかなかの盛況ぶり。プラネタリウムは１６時の回はすでに終了してました。特別展示は入れそうだったので、特別展示は行ってみることに。「宇宙なひと」内容は、宇宙に関しての歴史や遍歴、実物や模型の展示、映像を使ったものなどなかなか見ごたえがあり、子どもたちもかなり食いついていました。その後一般展示に向かうと、ここも大盛況。それぞれが興味があるところに並びつつ楽しんでいました。最新の技術を使った映像やフライト趣味レーション、ロボット、ショーなどを満喫しました。約１時間ほどでしたがあっという間で、「何回来ても楽しいね」「年間パス、クラブで買ったらいいんじゃない？」など子どもたちもいい時間を過ごしたみたいです。

スポーツクラブ

けんた

11月に入ってから寒さも本格的に寒くなってきた。けれども、遊びだしたら上着を脱いで走り回ったりする子もいるくらい元気だった。
天気も不安定な感じで、降水確率をみたり、当日の天気を見ながらの活動だった。

11月4日　この日は、久々に鴻臚館に行った。夏に行った時よりも直射日光がきつくなくて活動しやすかった。鴻臚館広場(平和台球場跡地の公園)の方で活動した。
最初はそれぞれ自由に体を動かして暖めてから野球をした。赤坂公園よりも広いのでいつもよりベースを広く取って試合をした。それによって、いつもならヒットになる打球でも間に合わなかったりする場面があった。「1塁までの距離が遠いから相手チームの方が有利でずるい！」と言われたけれど、「攻撃と守備が交代したとき自分達が有利になるよ」と、言ったら「あ、そっか！」の一言で解決した。
鴻臚館広場は、地面が芝生になっているので、プレイで使っている柔らかいボールは、すぐに減速するので、バウンドするようなヒットを打っても、外野まで抜けていくヒットが出なかった。あと、芝生で痛くないから、スライディングをする子もいた。
赤坂公園では、ホームランになる距離でも鴻臚館では、外野フライになっていた。けれども、日頃そんな大きいフライを取る事がないからか、両チームとも取れずに落としてしまう事が、多々あった。野球が終わって、最後にベースランをした。
ベースランは、2チームに別れてホーム側スタート(ホーム→1塁→2塁→3塁→次の走者)と、2塁スタート(2塁→3塁→ホーム→1塁→次の走者)で、同じ方向に回ってどちらが早く全員終わるか競う。大回りしないように上手く回ることが大事みたいで、足が早ければ勝つと言う勝負にはならなかった。

11月11日　出発前から、「今日は、赤坂公園でしよう」「鴻臚館は、行かないよね？」など赤坂公園でしたい人が多かったみたいなので、赤坂公園へ向かった。
しかし、いつも使っている方の広場は、他の人達が使っていたので仕方なく鴻臚館に向かった。赤坂公園から鴻臚館へは、ケンタッキーの近くから、向かった。最初は歩道を上がろうとしたけれど、数人が歩道ではない少し傾斜がきつい坂をのぼって行くと向かって行った。すると「俺も！」「じゃあ○○が行くなら俺も行く！」と芋づる式に増えていき、結局全員で登った。着いてから、準備運動をしてから、野球をして、ベースランをしてから帰った。

11月18日　雨が降ったら科学館へ行こう！の予定だったけれど、雨は降らなかったので、赤坂公園へ行った。スポーツクラブのメンバーは「今日雨降ってないから出掛けるよね？」「赤坂公園行こう！」と科学館よりも外で遊びたい派の人が多かった。野球をして、蚊が居なくなっていたのでケイドロをした。「あそこに隠れてたら見つからんけん最強なんよねー」と、隠れるのがメインのケイドロになっていた。

子どもっておもしろい!!

キョリュジョ

ここしばらくで急に秋も深まってきた。プレイスクールのまわりの森も紅葉の季節を迎えて華やかに彩られ出した。

幼児クラスのほとんどの子どもたちが森にお出かけした風車棟は、さっきまでの喧騒がウソように静かな時間が流れている。今日の「お残りーず」は女子たち7名、プレイスクールにある年季の入ったドレスを身にまとい床下やケコミの中でこちょこちょと遊んでいる。

ボクが森に出かけた男の子が描いた恐竜の絵を見ていると、ひとりの女の子が寄ってきて「恐竜の絵、描きたい！　すっごく大きい恐竜の絵！」と言い出した。ドレス姿の女子の口から恐竜という言葉が出てきて驚いているボクにさらにその子は続けて言った。「ほら、こないだ読んでくれた絵本みたいに、紙をいっぱいつなげたら大きい恐竜が描けるやんか」「あぁ『おおきなおおきなおいも』のことやね。…う〜ん、よしやってみようか」倉庫をゴソゴソ探してみるとロール状の紙を発見。風車棟の床に転がして広げると、長〜いキャンバスの出来上がりだ。

「これだけ紙が長いから首の長い恐竜にしてみようか」「うん、そうしよう、そうしよう」

子どもたちに紙を渡して「自由に描いていいよ」と言うとなぜか紙の中央に比較的小さい絵を描くことが多い。紙のサイズが大きくなっても中央に描く絵の大きさはあまり変わらないのだ。きっと彼らの小さな手の届く範囲の方が気ままに描くことができるのかも知れない。もちろんそこから次々にお話しが広がって絵も広がっていくのだけれど。今日のところは恐竜の輪郭はボクが描いて、子どもたちは塗り絵のように恐竜をお飾りしてもらうことにした。他のことをしていた女子たちもでっかい紙の登場に興味津々で寄ってきて、さぁ大きな恐竜作りのはじまりはじまり！　さすがに女子たち、色のチョイスが華やかでかわいい。首長竜といえば何となく地味な色のイメージだが、女子たちの手にかかると虹色の色合いだったり、ピンクのリボンが付いていたりする。「こっちはおかあさん恐竜ということにしよ」「フーチンもうひとつ小さいの描いてな、それ子どもにするし」とお話はどんどんと広がっていくのだった。

ところで最近、恐竜の絶滅の要因といわれている隕石が少しずれたところに落ちていたら、恐竜はいまも生きのびていたかも知れないというニュースがあった。2億2千万年前から隆盛を極めていた恐竜たちは、今から6千6百万年前に直径10キロほどの隕石の落下の影響で絶滅したといわれている。灼熱の隕石が地表にあった植物などの有機物を燃やし、そのすすが地球を覆って太陽光が遮られ気温が急激に下がったことが原因といわれているのだ。ところが最新の研究では、その当時の地球で大量のすすを発生しそうな場所は地表のたった13%しかなかったということがわかった。ということは87%の確率で、今も恐竜が地球を闊歩していて、人類とともに進化した彼らがわれわれと共存していた可能性もあったのだ。首長竜がクレーンのかわりをしていたり、プテラノドンがドローンのかわりに荷物を運んでいたり、小型の恐竜が車の代わりになっていたかも知れないと考えるとなかなか楽しいではないか。もちろん原始的な哺乳類のあいだに恐竜に絶滅させられて、人類そのものが地球の歴史に登場していない可能性もあるけれど。

恐竜女子たちが頑張ってくれてにぎやかな恐竜の絵が出来上がった。「このまま床に寝さしてたら、恐竜の大きさがわからないねぇ…そうだ上からつるしてみよう」こうして首長竜は糸でつられて風車棟の真ん中にその姿を現した。「うわぁ〜っ、大きい！」「すご〜い！」

おっともうこんな時間だ。森に出かけていた子どもたちが戻ってくるぞ。首長竜の天敵ヤンチャサウルスにやられるまえに看板を作っておこう。「これはみんなでつくったので　さわらないでください」　さて次はお残りーずたちと何をして遊ぼうかな？

（京都・雑創の森プレイスクール　福山記）

福岡プレイスクール 2017 年　12 月度予定表

日	月	火	水	木	金	土
					1 ナースリー	2 午後　小学生
3 	4 	5 ナースリー 幼児	6 小学生	7 ナースリー 幼児	8 ナースリー 幼児	9 小学生　午前クラス (土鍋で炊き込みごはん) 小学生　午後
10 かるがもクラブ	11 	12 ナースリー 幼児	13 小学生	14 ナースリー 幼児	15 ナースリー 幼児	16 午後　小学生クラブ
17 	18 	19 ナースリー 幼児	20 小学生 夕食会	21 ナースリー　もちつき 幼児　もちつき	22 ナースリー10:00～ 昼食会　11:45～ 幼児　　クリスマス会	23 天皇誕生日でおやすみ
24 人形劇場 人形劇団　やじろべえ 11:00～12:00	25 	26 幼児　もちつき	27 小学生 午前　もちつき 午後　もちつき	28 子ども冬休み 12 月 28 日～1 月 4 日までです。 スタッフは 12 月 29 日まではいます。	29	30
31 冬休み 	◎ナースリークラス　12 月 21 日（木）もちつき 10:00～12:00　・12 月 22 日（金）活動後昼食会 11:45～12:30 ◎幼児クラス　12 月 22 日（金）クリスマス会 14:30～17:00　・12 月 21 日（木）26 日（火）親子もちつき ◎小学生クラス　12 月 27 日（水）もちつき　午前 10:00～12:00　午後 14:00～16:00 ◎子ども冬休み 12 月 28 日～1 月 4 日までです。 ◎新年は　ナースリークラス　1 月 5 日（金）午前中・幼児 1 月 5 日（金）午後 ◎　　小学生クラス　1 月 6 日（土）午後　　七草がゆの会から始まります。 ※詳しいお知らせは各クラスで出します。					